

第 4 回 松山地域学校統合準備委員会

◎日時：令和 7 年 1 月 29 日（水）午後 7 時～

◎場所：松山公民館 ホール

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 報告事項

（１）学校教育部会報告について・・・・・・・・・・資料 1

4 協議事項

（１）統合校の校章・校歌について・・・・・・・・・・資料 2・3

5 そ の 他

6 閉 会

松山地域学校統合準備委員会 委員名簿

No.	要綱区分	氏 名	所属	役職	備考
1	1号委員	高 橋 章 友	松山小学校	校長	
2	1号委員	曾 根 栄 喜	下伊場野小学校	校長	
3	2号委員	佐々木 健 志	松山小学校 PTA	会長	
4	2号委員	山 口 孝	下伊場野小学校 PTA	会長	副委員長
5	3号委員	及 川 留太郎	松山小学校学校評議員	評議員	
6	3号委員	簡 野 寛 義	下伊場野小学校学校評議員	評議員	
7	4号委員	今 藤 啓 元	松山まちづくり協議会	監事	
8	4号委員	斉 田 久 典	松山まちづくり協議会	監事	委員長

〔事務局〕

No.	所属及び役職	氏 名
1	教育長	熊 野 充 利
2	教育部長	伊 藤 文 子
3	教育部参事兼教育総務課長兼学校教育環境整備推進室室長	平 地 久 悦
4	教育部教育総務課課長補佐兼学校教育環境整備推進室室長補佐	菊 池 勝 行
5	教育部教育総務課学校教育環境整備推進室 主幹兼係長	鈴 木 健
6	教育部教育総務課学校教育環境整備推進室 主事	加 藤 拓 也
7	教育部教育総務課学校教育環境整備推進室 学校教育専門指導員	玉 水 透
8	松山総合支所地域振興課長	氷 室 貴 文

3 報告事項

第3回学校教育部会 報告

1 日時：令和7年1月21日（火） 午後3時00分～

2 場所：下伊場野小学校 会議室

3 参加者

- ・松山小学校 教諭 高成俊也 教諭 遠藤寛樹(欠席) 主幹兼事務長 阿部紀子
- ・下伊場野小学校 教諭 早坂貴史 教諭 高橋慶吾 主事 千葉理紗
- ・教育総務課学校教育環境整備推進室 鈴木健 加藤拓也 玉水透

4 協議事項

(1)学校教育目標／目指す…／学校経営方針 等

＜(仮)学校教育目標＞

「共に学び合い 志をもって未来を拓く 心豊かでたくましい子供」

＜(仮)目指す児童像＞

- 【ま】真面目に頑張る子
- 【つ】強く優しい子
- 【や】やり抜く子
- 【ま】真心こめた挨拶ができる子

＜(仮)目指す教師像＞

- 【ま】真っ正面から子供と向き合う教職員
- 【つ】創り出し、共に働き甲斐のある職場づくりを目指す教職員
- 【や】やりがいを持ち、心身ともに健康で明朗・快活な教職員
- 【ま】学びあい、互いに高める教職員

＜(仮)目指す学校像＞

- ・安全・安心な学校【安全・安心】（居心地がよく子供の命が最優先）
- ・保護者・地域から信頼される学校【信頼】（積極的な情報の発信と交換）
- ・地域と共につくる学校【協働】（特色ある教育活動の充実）

＜(仮)学校経営方針＞

- ・「凡事徹底」～当たり前前の方が当たり前でできる子供を育てます～
- ・「最高の楽校」～誰もが居心地の良い学びがいのある楽しい学校づくりに努めます～

(2)主な学校行事について

- ・主な学校行事については変更なし
- ・単位時間45分／1時間 29～30コマ／週 で確認 具体は来年度の学校教育部会で

(3)学校備品の整理と移動について

- ①移動物品：ベースは「松山小学校」 2校の教務主任で日程を調整し「調査・確認」を行う
- ②廃棄を考える（必要のある）物品：計画的に各学校で廃棄を
- ③購入年度が比較的新しく、来年度まで使用するが、移動の必要はなく使用に耐え得る物品
 - ・学校間同士でのやり取りをしない
 - ・「松山小学校→下伊場野小学校」への移動もあり
- ④「備品台帳」と「移動物品」：変更なし
- ⑤保健室の備品移動：備品移動はなし 「本（保健資料）」「消耗品」等の移動は、リストを作成

(4)総合的な学習の時間について

- ・サケの放流：5年生で実施 但し、理科と社会で時数をカウント
- ・カヌー体験：4年生で実施 次年度、詳細について検討

【（新生）松山小学校での取組】

＜3年生＞ ・福祉 ・プログラミング

＜4年生＞ ・地域の防災 ・伝統芸能（躍） ・プログラミング ・カヌー

＜5年生＞ ・農業体験（田んぼ） ・伝統芸能（躍） ・園児との交流 ・プログラミング

＜6年生＞ ・「地域のよさを知ろう」 ・伝統芸能（躍） ・プログラミング

＊次年度（令和7年度）、下伊場野小学校5年生は、松山小学校の「躍」を体験する

＜伝統芸能について＞

- ・松 山 小：獅子躍 「映像」として保存 総合で取り組む
- ・下伊場野小：太鼓 「映像」として保存

(5)学校徴収金について＜R8 年度に向けて＞

- ・改めて「減額」の方向で検討していく
- ・「児童会費」を徴収しない
- ・「合宿に掛かる費用」は当該年度に実費集金、「修学旅行」は保護者が直接業者納入
- ・徴収金は「口座振替」とする

(6)令和7年度の交流学习について

	時 期	対 象	時 間	内 容
1	1/27 に協議	4・5・6年	2～3 日	松山小学校に通学し、学習と生活を共にする
2	6月中旬	4 年	2～4 校時	校外学習（麓山浄水場）
3	9月初旬	4 年	2～4 校時	校外学習（プラネタリウム）
4	9月初旬	4 年	2～4 校時	校外学習（ごみ処理場）
5	9月初旬	5 年	2～4 校時	校外学習（トヨタ自動車東日本）
6	11 月上旬	6 年	5・6 校時	松山中学校オープンスクール
7	11 月中旬	全学年	終日	羽黒まつり

(7)図書室（図書）と保健関係について

◎図書館（図書）について

- ・1 1月14日（木）ワーキング部会開催（含：図書館支援員）
- ・所蔵冊数 15,218（2校合冊）→（新生）松山小学校 8クラス 標準 6,040 冊
- ・松山小で選外の本は、下伊場野小に運ぶこともあり
- ・これからの予定（計画）の確認

◎保健関係について

- ・1 2月5日（木）、1月9日（木） ワーキング部会開催
- ・「保健室関係」の備品移動
- ・「保健調査票」の作成（松山中学校の養護教諭も出席）

4 協議事項

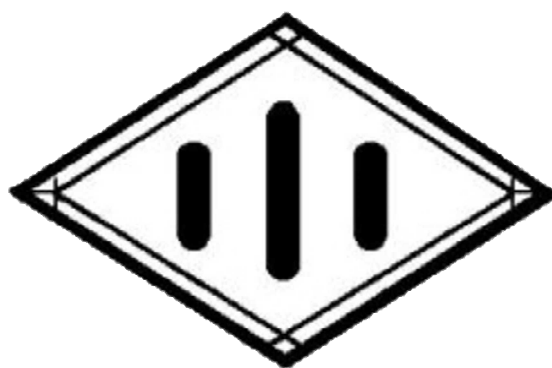
(1) 統合校の校章・校歌について

第3回松山地域学校統合準備委員会において、校章・校歌ともに児童及び地域住民を対象にアンケートを実施し、その集計結果を参考に決定することとした。

※アンケート集計結果については、資料3参照

◆校章

1. 既存の学校から選定（松山小学校の校章を使用）



松山小学校校章

2. 校章デザインを募集し、応募作品の中から選定

- ①対象を児童及び地域住民とし募集
- ②対象を市内全域とし募集
- ③対象を広く全国に募集

◆校歌

1. 既存の学校から選定

松山小学校、下伊場野小学校のいずれかの校歌を使用

松山小学校校歌：そのまま使用可能

下伊場野小学校校歌：校歌のタイトル部分の校名のみを変更すれば、そのまま使用可能

2. 校歌に入れたいフレーズ・単語を募集し、応募いただいたフレーズ・単語を使用し校歌を制作

・フレーズ・単語の募集

- ①対象を児童及び地域住民とし募集
- ②対象を市内全域とし募集

・校歌制作

- ①松山地域出身または在住のかたに作詞・作曲を依頼
- ②大崎市出身または在住のかたに作詞・作曲を依頼
- ③市内外を問わず、専門家に作詞・作曲を依頼

松山小学校校歌

作詞 土井 晩翠
作曲 片山 穎太郎

一

大崎耕土 東南の
陽に位し 万頃の

ゆたかの実 見るところ

わが松山の うましさと
里は学舎 あるところ

二

三百余年 古の
荒地を拓き この里の

基をすえし よき人の

そのすえ建てし 学びの舎
大成館の 名は昔

三

所をかえて いや栄ゆ
わが学びの舎 松山の

名をこそおえれ ここにして

教えの道を たどりこし

紅顔の子ら いく千か

四

無言の教え 高き山

長き流れを 眺めつつ

新たな御代の あらたなる

希望の光 ゆたけくも

日々向上の 道てらす

松山小学校校歌の意味

大崎平野の東南の方に

そのはずれに広々とした

たくさん農作物が実るところがあります

私たち松山の美しく満ち足りた町があります

その里にすばらしい学校があります

三百年以上前から

人々は荒地を切り拓いて

生活をするための町を作ってきました

その人たちが造った学校があります

その学校の名前を「大成館」といいました

大成館のあった場所はその後 変わりましたが

志は大きくなって私たちの松山小学校になりました

歴史のある立派な名前を今も受け継いで

真理を探しながら学んでいる

若い生き生きとした子どもたちがたくさんいます

昔から何も云わないでそびえ立っていた山々は

鳴瀬川の長く豊かな流れを見守っています

その豊かな自然の中で新しい時代を迎えるたび

希望の光が盛んになり

毎日毎日伸びようとする私たちの未来を照らします

下伊場野小学校校歌

作詞 菊地 新
作曲 曾我 道雄

一

山脈青く 雲映えて

風がかがやく 朝の空

もえる希望の 胸はつて

学ぼう ランララ 元氣よく

花も 若葉も 光つてる

二

鳴瀬の流れ ひとすじに

遙か地平を とぶ翼

遠い未来に あこがれて

進もう ランララ たくましく

明日の世界が 呼んでいる

三

コスモスの花 うつくしく

松はみどりの ふるさとに

はぐくむ命 たゆみなく

磨こう ランララ 真心を

星がきらめく わが母校

・校章デザインの謝礼（これまでの実績）

区分	賞	内容	金額（相当）
一般用	最優秀作品（１点）	おおさき特産品詰合せ	３０，０００円
	優秀作品（２点）	おおさき特産品詰合せ	１０，０００円
		おおさき特産品詰合せ	１０，０００円
児童用	最優秀作品（１点）	図書カード	５，０００円
	優秀作品（２点）	図書カード	３，０００円
		図書カード	３，０００円

・校歌選定までの流れ（案）

１	統合準備委員会	校歌の募集方法の提案
２	広報と一緒に配布	校歌のフレーズ・単語を募集
３	統合準備委員会	校歌のフレーズ・単語の募集結果報告 （応募結果一覧を作成します。） 各委員からもフレーズ・単語をあげてもらう。 作詞者・作曲者の選定
４	作詞者・作曲者に依頼・制作 【参 考】 ①古川北小学校 旧富永小学校の校長が作曲し，古川北部地区の音楽の先生が編曲，構成する各小学校長の合作により作詞 ②古川西小中学校 作詞：伊藤淳 氏（ロックバンド「ナイトメア」のボーカルＹＯＭＩ，おおさき宝大使であるロックバンド「仙台貨物」のイガグリ千葉の兄，古川地域出身） 作曲：大場陽子 氏（岩手大学准教授，鳴子温泉地域在住） ③鳴子小中学校 鳴子中学校の校歌を使用し，校名部分のみ変更。これに伴い，当時の作曲者に依頼し，校名部分のメロディを変更	

松山地域統合校校章・校歌アンケート集計結果

◇応募期間：①小学生 令和6年11月18日（月）～11月27日（水）

②一般 令和6年12月 2日（月）～12月26日（木）

◇応募資格：松山地域在住の方

◇応募方法：学校回収(児童)，応募箱への投函，郵送，電子メール，FAX

●応募方法別応募者数

応募方法	学校回収	応募箱投函	郵送	メール	FAX	その他	合計
人数	163	9			2		174

●年代別応募者数

年代	小学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
人数	163					1	10	174

●学校区別応募者数

小学生			
学校	松山小	下伊場野小	合計
人数	152	11	163

一般応募			
学校区	松山小	下伊場野小	合計
人数	10	1	11

松山小学校区	162
下伊場野小学校区	12
合計	174

●統合校校章・校歌アンケート集計

【校章】

小学生（163件）	
回答	応募数
松山小学校の校章を使用	135
新たに校章を制作	26
未記入	2

一般（11件）	
回答	応募数
松山小学校の校章を使用	8
新たに校章を制作	3
未記入	

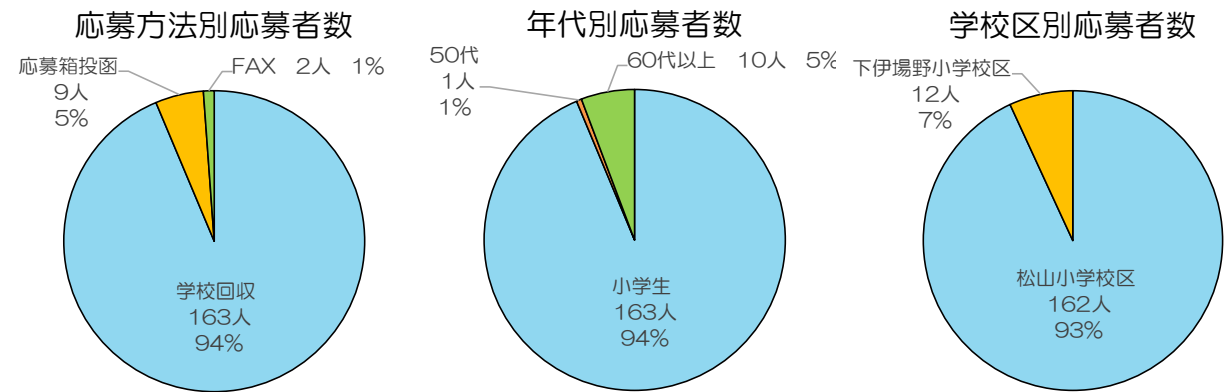
【校歌】

小学生（163件）	
回答	応募数
松山小学校の校歌を使用	134
新たに校歌を制作	22
未記入	7

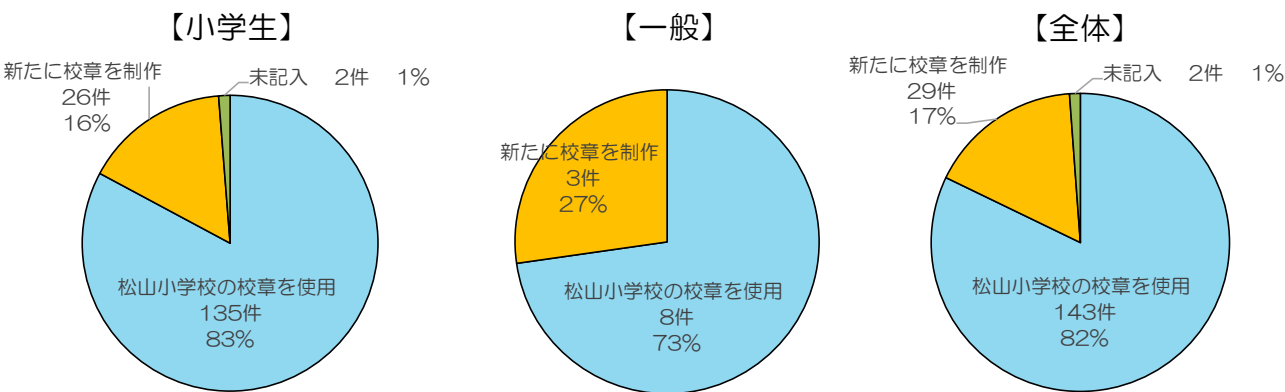
一般（11件）	
回答	応募数
松山小学校の校歌を使用	8
新たに校歌を制作	3
未記入	

松山地域統合校校章・校歌アンケート集計結果【グラフ表示】

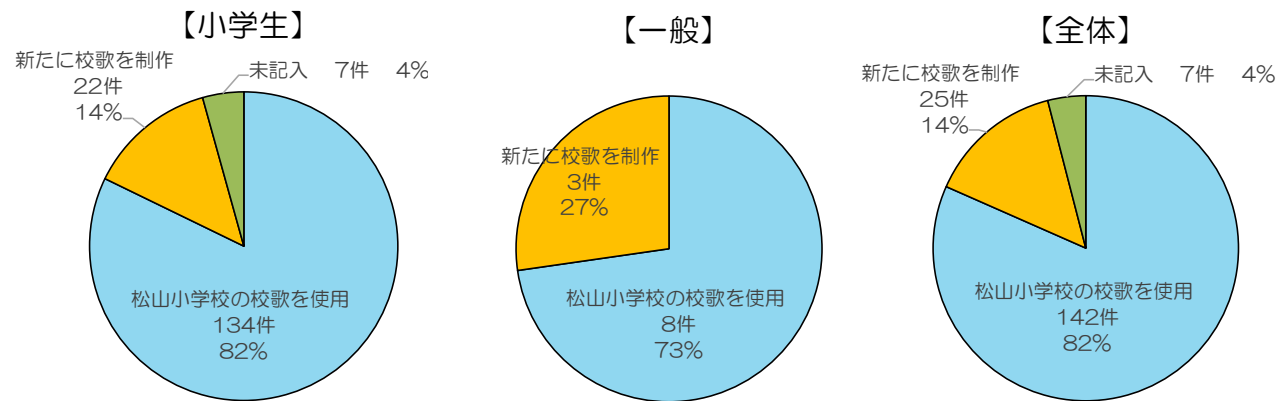
◆応募種別



◆校章アンケート集計



◆校歌アンケート集計



松山地域統合校校章・校歌アンケート 自由記載欄内容一覧

一般（校章）

	No.	自由記載欄記入内容	小学校区	年齢区分
ア 松山小学校の校章を使用	1	松山中が新校舎になった時、何の問題もなく、松山中学校の校歌、校章もそのままだったと思います。	松山小学校区	60代以上
	2	学校名が松山小と決定したので、校章を改めて作るとデザインや募集など大変な作業を要するし、校章も松山小の校章をそのまま使用するのが妥当と判断する。	下伊場野小学校区	60代以上
	3	個人的な考えではあるが、 ①児童数比が「1：10」以上であること ②明治6年創立の学校を消してはならないと考えていること の2点から対等合併という考えには反対である。「下伊場野小が松山小に吸収」であるという考えで進めてほしいが・・・。 よって、①及び②の意見は「ア」を支持します。	松山小学校区	50代
イ 新しい校章を制作	4	2つの学校が対等な立場で統合されるのですから、校章、校歌は新しくした方が良いと思います。新鮮味も産まれます。	松山小学校区	60代以上
	5	数の論理でも、全て松山小学区が有利となる。校章は松山小学校と下伊場野小学校の子どもたちで考えさせたらどうか。もちろん、保護者の方々の協力も必要ですが。	松山小学校区	60代以上
	6	松山小学校の校章は大正3年に定めたもので、図案は茂庭氏の定紋重剣菱と聞いています。現在の松山小学校の校章は松葉菱をデザイン化したもので、下伊場野小学校も校名の改称により変更していますが、三つ松をデザイン化したものと思慮されます。 松山は「花と歴史の香るまち」、コスモスのまちとして知られていますので、これにふさわしいデザインの校章にしてほしいと切望します。 広く募集して決めるのがふさわしいと考えます。	松山小学校区	60代以上

一般（校歌）

	No.	自由記載欄記入内容	小学校区	年齢区分
ア 松山小学校の校歌を使用	1	可能なら松山小学校校歌四番の「長き流れを」→「鳴瀬の流れに」に変える。土井晩翠作詞後永長経てるので可能だと思いますが・・・。	松山小学校区	60代以上
	2	松小の校歌と下伊小の校歌の歌詞を比べ内容を見てみると、松小の校歌の歌詞に下伊小の歌詞内容が概ね包含されていると思われるので、改めて新しい校歌をつくらなくても良いと判断する。	下伊場野小学校区	60代以上
	3	意見の中にはこれを機に子どもたちにわかりやすい校歌とありますが、歴史ある城下町時からあった大成館の名も出て、土井晩翠の作詞でも有り、歌詞がわかりにくくても、将来大人になって素晴らしいと感じると思う。	松山小学校区	60代以上
イ 新しい校歌を制作	4	校歌は1～3番までに短くした方が良いと思います。	松山小学校区	60代以上
	5	メロディはそのまま二番あたりに下伊小の現校歌の歌詞をどこかに取り入れてはどうですか。例えば“鳴瀬川”とか。	松山小学校区	60代以上
	6	校名が松山小学校に決まったわけですが、下伊場野地区の方の中には、やはり、吸収合併だと受け取るかたもいると思います。松山小学校の校歌は昭和9年に制定されたもので、校歌の意味は児童はもとより、一般の方もうまく歌詞の内容は語句が古いので理解できにくく、現代にはそぐわないと感じています。一方、下伊場野小学校の校歌は、校名の改称で変わっていますが、解りやすい現代文の歌詞であり松山小学校の校歌とのギャップを感じます。 校歌は児童数の大小で決定されることがあってはならないので、納得のいく新しい校歌にすべきであり、募集して決めるのがふさわしいと考えます。	松山小学校区	60代以上

※小学校児童については自由記載無し。